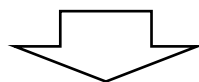


Ⅲ. ハザードの特定 2. PrP^{Sc}の分布（蓄積部位）

に係る知見のポイント（起草会議における議論の概要）

- 定型 BSE と非定型 BSE に分けて整理
- 2019 年評価までに取りまとめた知見を総括するとともに、以降の新たな知見について確認
 - 現行の SRM 範囲に影響を与える知見は確認されていない
 - BSE 感染牛において、総感染負荷の 99%以上を SRM が占める旨を記載
 - 非定型 BSE 感染牛における PrP^{Sc}の分布については、EFSA の科学的意見書の内容も踏まえた概要の記載及びこれまでの食品安全委員会のプリオン評価書に記載していた知見についてはサマリーとして集約。
- 非定型 BSE については、現行の SRM における PrP^{Sc}の分布を図式化
- 定型 BSE 感染牛と非定型 BSE 感染牛におけるプリオンの体内分布を整理した上で、今般、検討対象とした部位について記述（非定型 BSE に係る科学的知見が不足すると考えられる場合には定型 BSE 感染牛の知見を外挿して評価することを記載）
- 高感度検出法における結果の取扱いについて記載



評価の前提となる日本における BSE リスク管理措置の点検結果及び PrP^{Sc}の分布に係る知見を踏まえて、ハザードの特定結果（案）を検討